

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和3年 7月20日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府福知山市長田野町1丁目29番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 武蔵キャスティング株式会社 代 表取締役社長 家木 伸二
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	環境マネジメントマニュアル AEMS (ISO14001:2015)
適 用 範 囲	武蔵キャスティング株式会社 本社工場及び三和工場
導 入 年 月 日	2001年11月18日
認 証 番 号	JAER0292
基 本 方 針	「環境方針」参照
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1. 電力原単位の前年度比1%の改善 2. 廃棄物排出量の前年度比10%削減 その他、「個別目標あり」による
目標を達成するための取組の内容	1. 省エネルギー 休暇時、不要な系統の停電の実施 インバータ制御をインバータ制御に変更 容量の適正化 燃物としての廃棄の見直し 1) 長期 2) 集塵機のダ 3) 変圧器の更新により 2. 廃棄物 ダンボールを可
目標を達成するための取組の進捗状況	1. 省エネルギー 1) 及び3) は計画実行済、2) については、予算取りが高額の為、進捗が遅れる。 段ボール廃棄物に ついては計画実行済、 上記
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	廃棄物のうち鉱さい廃棄物では、大きな削減とまでいかないが、取り扱い方法の見直し、多数の専用缶からダンプへ積み込む作業を、500kgフレコンバックで積み込む作業として改善し、粉塵の飛散がなくなった。（作業環境がよくなった）
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令順守については、毎年のISO定期審査及び3年ごとの更新審査にて、審査員に確認いただき、順守状況を報告している。令和2年度においても、特に問題となることはなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	社長は、年度末の環境管理責任者の評価まとめと法令順守状況を確認し、次年度の指針となる指示事項を策定する。令和2年度においては、上期立上りに新型コロナによる物流の停滞で、かつてない落込みであったが、後半回復でき、原発も回復したため、CO2排出量、廃棄物排出量ともに生産量から見た原単位は、下がり傾向にあるので、これを継続していきたい。とコメントがあった。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。